

国語科 授業シラバス

教科名	国語	科目名	古典研究	学科・学年・学級	学術探究科・第3学年・1～5組		
教科書	桐原書店『新探求古典B 古文編／漢文編』古B354/355			単位数	3単位	年間予定総時数	105時間

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
-------	--

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	進度 状況
1 学期	4	オリエンテーション	年間を通しての授業の流れを確認する。	[関]教材に関心をもって取り組んでいる。		
		説話〈宇治拾遺物語〉秦兼久の悪口	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。</li> <li>和歌の修辞技巧を復習し、歌の主旨を捉えたうえで、作品の主題を考える。</li> </ul>	[関]平安時代の人々にとって、勅撰集に入集することがいかに重要なものであったかを調べたり発表したりしている。 [読]兼久の歌に対する通俊の評価と、それに対する兼久の反論の主旨を的確に捉えている。 [読]通俊がなぜ本文末尾にあるような言葉を発したのか、話し合っている。 [知]説話文学、勅撰和歌集(特に八代集など)について、文学史的知識を持っている。		1学期中間 考查
		逸話〈不顧後患〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。</li> <li>たとえ話や比喻表現に注意して、話の内容を理解する。</li> <li>話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。</li> </ul>	[関]話の時代背景について関心を持ち、調べている。 [読]文章の展開、内容のおもしろさを理解している。 [読]たとえ話の真意である諫言の内容を理解している。 [知]漢文に特有な語彙や、否定形・詠嘆形などの句形、「A[スル]コトB」などの構文について、その読みと意味を理解している。		1学期中間 考查
	史伝 I 〈荊軻〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。</li> <li>「逸話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。</li> <li>荊軻の活躍した戦国時代の概要を理解する。</li> <li>「十八史略」の概要と、編年体の記述の特徴について理解する。</li> </ul>	[関]本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 [関]秦を中心とした当時の国々の力関係ならびに「刺客」という存在について関心を持ち、調べている。 [読]荊軻が樊於期の首を請うたときの太子丹・樊於期の心情、ならびに秦王の暗殺に命を賭ける荊軻の心情を理解している。 [知]登場人物の人物像・性格を理解している。 [知]戦国時代の歴史的背景を理解している。 [知]「十八史略」の内容について基本的知識を持っている。		1学期中間 考查	
	5	日記〈蜻蛉日記〉嘆きつつひとり寝る夜	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記を読んで、作者のものの考え方や感じ方を理解する。</li> <li>文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>和歌に込められた登場人物の心情を理解する。</li> </ul>	[関]女流日記としての「蜻蛉日記」の概要と、当時の結婚形態について調べたり発表したりしている。 [読]修辞法に注意しながら、和歌を正確に解釈している。 [読]作者と夫兼家の心情のすれ違いを的確に読み取っている。 [知]「蜻蛉日記」について、文学史的知識を持っている。		1学期期末 考查

		<p>詩〈長恨歌〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長文の詩を読んで、全体の構成を把握する。</li> <li>・史実を踏まえて、詩の内容を理解する。</li> <li>・比喩表現や対句などの優れた表現を味わう。</li> <li>・「長恨歌」の日本文学への影響について知る。</li> <li>・鑑賞文を書いたり、暗唱して、作品への理解を深める。</li> </ul>	<p>[関]この詩の歴史的背景について調べ、詩の内容理解を深めようとしている。</p> <p>[関]「長恨歌」の日本文学への影響について調べている。</p> <p>[読]漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。</p> <p>[読]詩全体の構成を話の展開に即して理解している。</p> <p>[読]脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。</p> <p>[読]玄宗と楊貴妃の心情を、詩句に即して的確に捉えている。</p> <p>[読]生死をも超越した男女の愛を描いたこの詩の主題を理解している。</p> <p>[知]詩形・押韻・対句などを正確に理解している。</p>		1学期期末 審査	
6	<p>歴史と小説〈大鏡〉菅原道真の左遷/道長の豪胆</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。</li> <li>・老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。</li> <li>・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。</li> </ul>	<p>[関]「大鏡」の内容・構成の特色や、時平・道真・道長・花山院など主要な登場人物について調べたり発表したりしている。</p> <p>[読][菅原道真の左遷]道真左遷の背景としての時平と道真の人物比較、左遷される道真の状況と心情の推移、道真没後のエピソードについての的確に読み取っている。</p> <p>[読][道長の豪胆]①二つのエピソードから成る構成を的確に捉えている。②道隆・道兼、道長、花山院の性格の違いを本文に即して的確に捉えている。</p> <p>[知][菅原道真の左遷]和歌の修辞技巧を理解している。</p> <p>[知]時平・道真・道長・花山院など主要な登場人物について知識を持っている。</p>		1学期期末 審査	
7	<p>史伝Ⅱ〈廉頗と藺相如〉(一)璧を完うして趙に帰る (二)澠池の会 (三)刎頸の交はり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力味わう。</li> <li>・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。</li> <li>・「完璧」「刎頸の交わり」の成語の由来を理解する。</li> <li>・廉頗と藺相如の生きた戦国時代の概要を理解する。</li> <li>・「史記」の概要と、列伝の記述の特徴について理解する。</li> </ul>	<p>[関]詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。</p> <p>[関]戦国時代の歴史について関心を持ち、調べている。</p> <p>[関]「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。</p> <p>[読][一]璧を完うして趙に帰る]秦王の要求に対し、藺相如を中心とする趙側がどう判断し、どのように対抗しようとしたかを的確に捉えている。</p> <p>[読][二]澠池の会]藺相如がどのような方法を用いて秦に趙の要求をのませたかを的確に捉えている。</p> <p>[読][三]刎頸の交はり]廉頗の不満の内容と、それに対する藺相如の対応の意図を理解している。</p> <p>[知][一]璧を完うして趙に帰る]疑問形・選択形・抑揚形などの句形について、その読みと意味を理解している。</p> <p>[知][二]刎頸の交はり]選択形・反語形・否定形などの句形について、その読みと意味を理解している。</p> <p>[知]登場人物の人物像・性格を理解している。</p> <p>[知]「完璧」「刎頸の交わり」の成語の由来を理解している。</p> <p>[知]戦国時代の歴史的背景を理解している。</p>		1学期期末 審査	
		<p>漢文ジャンル解説〈史伝・詩・思想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのジャンルの特徴について整理する。</li> </ul>	<p>[知]中国文学史について歴史的背景を踏まえて理解している。</p>			
2 学期	9	<p>物語〈源氏物語〉葵の上と物の怪</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。</li> <li>・「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。</li> <li>・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。</li> </ul>	<p>[関]「源氏物語」全体のあらすじについて調べたり発表したりしている。</p> <p>[読]本文をいくつかの段落に分け、全体の構成を理解している。</p> <p>[読]和歌の解釈を通して、登場人物の心情を的確に読み取っている。</p> <p>[読]葵上の出産に伴う周囲の人々の思いと、御息所の心の異常が高じていくさまを的確に捉えている。</p> <p>[知]和歌の修辞技巧を理解している。</p>		2学期中間 審査

	<p>思想(老子)無用之用、(荘子)渾沌、(韓非子)侵官之害</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老子・荘子と道家思想、韓非子と法家思想について、諸子百家における位置づけも含めて理解する。</li> <li>・逆説的な論理展開に注意して、簡潔な文章によって表現されている内容を的確に捉える。</li> <li>・儒家思想とも比較しながら、老子の世界観についての理解を深める。</li> <li>・「荘子」の文章の読解を通して、「万物斉同」「無為自然」「無用之用」について理解する。</li> <li>・「韓非子」の文章の読解を通して、韓非子の説く法治主義と理想的な政治のあり方について理解する。</li> <li>・孔子の徳治主義、孟子の王道政治と比較しながら、韓非子の思想の特色を理解する。</li> </ul>	<p>[関]諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。 [関]諸子百家におけるそれぞれの人物の位置づけや内容・構成について関心を持ち、調べている。 [読][無用之用]「無用」が「用」を生じさせているという老子の主張を的確に捉えている。 [読][渾沌]「渾沌死」の意味を的確に捉え、道家の説く「無為自然」について理解している。 [読][侵官之害]昭侯が下した処罰の例を通して、韓非子の説く理想の政治のあり方を考察している。 [知]漢文に特有な句形・語彙について、読みと意味を理解している。 [知]諸子百家が登場した時代背景について理解している。</p>		<p>2学期中間 審査</p>
	<p>物語(堤中納言物語)虫めづる姫君</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。</li> <li>・物語のおもしろさを味わう。</li> <li>・「堤中納言物語」の文学史的な位置づけを理解する。</li> </ul>	<p>[関]「堤中納言物語」の文学史的な位置づけや「虫めづる姫君」以外の話の内容などを調べたり発表したりしている。 [読]主語などを補いながら、的確に表現を理解している。 [読]姫君の型破りな言動と、それに対する周囲の反応を的確に読み取っている。 [知]「堤中納言物語」について文学史的知識を持っている。</p>		<p>2学期中間 審査</p>
<p>10</p>	<p>評論Ⅰ(古今和歌集仮名序)(俊頼髓脳)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>・作者紀貫之と「古今和歌集」の文学史的な位置づけを理解する。</li> <li>・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。</li> </ul>	<p>[関]「古今和歌集仮名序」作者紀貫之と「古今和歌集」について調べたり発表したりしている。 [関]「俊頼髓脳」や登場人物である紀貫之について調べたり発表したりしている。 [読]「古今和歌集仮名序」作者の説く和歌の本質と和歌の効用の内容を的確に捉えている。 [読][俊頼髓脳]作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わっている。 [読][俊頼髓脳]和歌の技巧を的確に捉えて解釈している。 [読][俊頼髓脳]本文の内容が和歌の効用の具体例であることを理解している。 [知]和歌の修辞技巧を理解している。</p>		<p>2学期期末 審査</p>
	<p>評論Ⅱ(無名草子)(風姿花伝)(源氏物語玉の小櫛)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語評論、能楽論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>・[無名草子]物語評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>・[無名草子]引用されている小野小町の和歌を鑑賞する。</li> <li>・[風姿花伝]日本の伝統芸能への理解を深める。</li> <li>・[源氏物語玉の小櫛]「源氏物語」についての理解を深める。</li> </ul>	<p>[関]「無名草子」の内容・構成や歌人小野小町の歌風・代表歌について調べたり発表したりしている。 [関]「風姿花伝」の世阿弥と能楽について調べたり発表したりしている。 [関]「ものあはれ」という考え方について調べたり発表したりしている。 [読][無名草子]和歌の技巧を的確に捉えて解釈している。 [読][無名草子]小町の歌と生涯に対して、どのような評価が下されているか、的確に理解している。 [読][風姿花伝]「秘する花を知ること」の意味を的確に捉えている。 [読][風姿花伝]「めづらしき理の大用」「生涯の主になる花」などの表現に即して、世阿弥の主張を理解している。 [読][源氏物語玉の小櫛]「ものあはれ」と「恋」の関係について的確に捉えている。 [読][源氏物語玉の小櫛]「源氏物語」に恋の話題が多い理由と俊成の歌の引用の役割を的確に捉えている。 [知]「無名草子」や登場人物である小野小町について文学史的な知識を持っている。 [知]世阿弥と中世の能楽について文学史的な知識を持っている。 [知]本居宣長と「源氏物語」について文学史的な知識を持っている。</p>		<p>2学期期末 審査</p>

	11	文章〈漁父辞〉〈捕蛇者説〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名文と呼ばれる文章を読み、作者のもの見方や考え方を理解する。</li> <li>・作者屈原と、屈原らの辞を収めた「楚辞」について理解する。</li> <li>・「辞」という文体と文章中の表現の関連について理解する。</li> <li>・作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[関]漢文における「文章」にはどのような種類があるか調べている。</li> <li>[関]作者屈原の生涯や、屈原が生きた時代について関心を持ち、調べている。</li> <li>[関]作者の辞を収めた「楚辞」について関心を持ち、調べている。</li> <li>[読]話の展開に沿って、全体の構成を的確に捉えている。</li> <li>[読]屈原と漁夫とのやりとりを踏まえ、二人の主張する内容を的確に捉えている。</li> <li>[知]漢文に特有な語彙や、疑問形・反語形・使役形などの句形について、その読みと意味を理解している。</li> <li>[知]反語形の違いによって漁夫と屈原の心理がどのように表現されているかを理解している。</li> <li>[知]漢文における「文章」のジャンルについて基本的知識を持っている。</li> <li>[知]作者屈原について文学史的知識を持っている。</li> </ul>	2学期期末 考查
		和泉式部日記〈夢よりもはかなき世の中を〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読んで、作者のもの考え方や感じ方を理解する。</li> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>・和歌に込められた登場人物の心情を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[関]女流日記としての「和泉式部日記」の概要と、和泉式部の人物像について調べたり発表したりしている。</li> <li>[読]和歌の表現に着目して、作者と帥宮との交渉を的確に読み取っている。</li> <li>[読]①比喩表現に注意しながら、和歌を正確に解釈している。②作者の住まいの場面と帥宮の邸の二つの場面から成る構成を的確に捉えている。</li> <li>[知]和歌の修辞技巧を理解している。</li> <li>[知]「和泉式部日記」について、文学史的知識を持っている。</li> </ul>	
	12	紫式部日記〈水鳥に思いよそえて〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読んで、作者のもの考え方や感じ方を理解する。</li> <li>・登場人物を整理し、行為の主体を正確に把握しながら内容を読み取る。</li> <li>・「源氏物語」の作者としての紫式部の人物像を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[関]女流日記としての「紫式部日記」の概要や「源氏物語」との関連について調べたり発表したりしている。</li> <li>[読]指示語・主語を確認しながら、登場人物の言動を整理している。</li> <li>[読]行幸を間近に控えた土御門邸において、作者がどのような思いを抱いているか、的確に読み取っている。</li> <li>[知]和歌の修辞技巧を理解している。</li> </ul>	
3 学期	1～2	長文読解 思考力・判断力・表現力の 育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな文章を読み、国語の基礎力と応用力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[関]教材に興味をもって学習に取り組んでいる。</li> <li>[読]登場人物の行動と心情を読み取っている。</li> <li>[知]語句の意味や文法、敬語の意味と用法について整理し理解を深めている。</li> </ul>	

【年間の評価】

※定期考查の成績、課題提出物の提出状況や内容を評価します。

※提出物の中でも、誤答分析レポート提出を重視します。

【その他】

※授業は、予習前提で進めます。古文の場合は、該当作品の古典単語調べ、品詞分解などを事前に行い、現代語訳にも取り組んでおいて下さい。漢文の場合も、事前に文章を読み、現代語訳に取り組んで下さい。

※副読本および古語辞典や漢和辞典などの辞書を用いる習慣を付けましょう。

※月課題を課します。また、月課題は夏までに終了予定です。

※各定期テスト後および必修模試後は、誤答分析レポートを提出してもらいます。

※授業内容に応じて、月課題の他にも課題を課することがあります。

フォーマット

令和4年度 国語科 年間指導計画

教科名	国語	科目名	古典B	学科	芸術科	授業担当者	
教科書	桐原書店『新探求古典B 古文編／漢文編』古B354/355			単位数	3単位	年間予定総時数	105時間
校長検印		教頭検印		1学期	2学期	3学期	

国語科 授業シラバス

教科名	国語	科目名	古典研究	学科・学年・学級	学術探究科・第3学年・1～5組		
教科書	桐原書店『新探求古典B 古文編／漢文編』古B354/355			単位数	3単位	年間予定総時数	105時間

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
-------	---